



# コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219） 発行人：太田清志



【秋葉地区社会福祉協議会からのペットボトルツリー製作協力の依頼を受け、平成22年11月12日(金)、当コミ協各専門部員18人の皆さんがツリーの下ごしらえ作業に汗を流しました。完成したペットボトルツリーは、新津地域交流センターイベントホールに飾られ、歳末の雰囲気醸し出しました。】

**巻頭言**

## コミ協活動に思うこと

新津中央コミュニティ協議会 会計 中村 信也



コミ協の活動目標である「健康で安心安全な明るい地域づくり」を推進するために、コミ協を構成する皆様のボランティアでの活動には頭が下がります。猛暑の中での新津あおぞら市場へのコミ協ブースの開設、コミ協に対するアンケートの実施、3回シリーズで行った教養講座の開催など各専門部の活発な活動により、地域の皆様のコミ協に対する認識や理解が深まったように思われます。地域の皆様に役立つコミ協活動をさらに充実・発展させるためには、町内会や各種団体から選出された専門部員全員が参加し、役割分担し、創意工夫を重ねながら楽しく活動することが肝要かと思えます。



# 今年度の専門部活動を振り返って

## 健康福祉部



- ・新津あおぞら市場に  
コミ協ブース開設 (1、2)
- ・健康測定会 (3、4)
- ・親子料理教室 (5、6)

健康福祉部長 中山喜美雄

### ○今年度の活動の成果

新津あおぞら市場へのコミ協ブースの新規出店、健康測定会の開催など、今年度の予定した事業の全てを計画どおりに実施することができました。これらの活動をとおして、地域の方々へのコミ協の存在PRに一役買うことができたのではと思っています。更には部員同士の連帯感が増したことも成果の一つです。共に汗した部員の皆様及び陰で活動を支えて下さった多くの方々に感謝いたします。

### ○課題と来年度に向けた抱負

新たな取り組みとして、高齢化社会に対応した地域コミュニティづくりを中心に据えた事業の構築を模索したいと考えています。

## 防犯防災部

- ・防犯パトロール (8月を除く月1回)
- ・歳末防犯パトロール (11/24)



防犯防災部長 須藤 哲生

### ○今年度の活動の成果

月一回の児童登校時のパトロールなど、地域の安全安心に少しでも寄与できる活動を中心に取り組みました。

パトロールに参加していただいた部員の皆さんに心から感謝申し上げます。

### ○課題と来年度に向けた抱負

今年度予定していた事業のうち、「救命・救急法講習会」「護身術講習会」「防災訓練」を実施できなかったことが反省点として残ります。事業の推進に際して、他団体との連携を密にした協力体制づくりが課題です。

新年度は、懸案となっているコミ協独自の災害時緊急連絡網の整備についても着手する考えです。



# 文化教養部



- ・教養講座Ⅰ「私たちの生活と省エネルギー」  
第1回 (①②③)  
第2回 (④⑤)  
第3回 (⑥)
- ・教養講座Ⅱ「心地よいウォーキングを学ぼう」  
※健康福祉部との共催
- ・教養講座Ⅲ「にいつの史跡を歩こう」 (⑦⑧)  
※健康福祉部との共催



文化教養部部長 吉田 信威

### ○今年度の活動の成果

今年度はこれまで実施の事業「心地よいウォーキングを学ぼう」及び「にいつの史跡を訪ね歩こう」に加え、新たに専門的な知見を有する外部講師を招いて、講演会「私たちの生活と省エネルギー」を3回シリーズで開催し出席者の省エネ・環境問題に関する知識と問題意識を啓発しました。

### ○課題と来年度に向けた抱負

講演会の出席者数は期待を下回り、来年度に行う予定の講演会では、その内容と共に開催時期・PR方法等を考慮して、より多くの人に参加してもらうようにしたいと考えています。

各行事の準備等に参加するのは一部の部員に偏る傾向があるため、全員参加による文化教養部活動の推進を目指したいと思えます。

# 環境緑化部



- ・環境学習会 (①)  
「セイタカアワダチソウの生態と自然に及ぼす影響」
- ・新津川除草クリーン作戦協力 (②③)
- ・新津川水質調査 (④)
- ・新津川シンポジウム参加 (⑤)
- ・新津川水仙植栽協力 (⑥⑦)



環境緑化部長 高野 勝郎

### ○今年度の活動の成果

環境緑化部独自の事業として「セイタカアワダチソウの生態と自然に及ぼす影響」についての勉強会を開催するとともに、啓発用パンフにて地区内の全家庭に周知することに努めました。さらには「新津川の堤防に水仙を植える会」など、他団体が主催する環境緑化事業への積極的な協力・支援を行いました。

### ○課題と来年度に向けた抱負

部内にとどまらず、市民参加型の学習会（講演会も含む）の企画とその実施が課題です。来年度は、行政や各種団体からの環境保全・美化活動への要請に積極的に応えとともに、地域の皆さんの参加による環境問題に関する学習会など、環境緑化部独自の事業展開を進めていきたいと考えています。



## 「新津川に水仙を植える会」の活動紹介

「新津川に水仙を植える会」（代表；轡田 朗さん）では、平成22年11月7日(日)、新津川東側堤防斜面（日宝町マンション付近から山先橋手前の約200メートル）に水仙の球根約15,000個を植栽しました。

当日の作業には一般市民約250人が参加し汗を流しました。今年の春には、スイセンの花の群れが新津川の堤防に彩りを添える事でしょう。なお、新津中央コミュニティ協議会も共催団体として事業支援を行いました。

（写真提供：環境緑化部副部長 佐々木快宣さん）



（写真①②；前日の植栽準備活動の様子 写真③；参加者への説明会の様子 写真④～⑥；球根植栽の様子）

### ◆第2回専門部長・副部長会報告

事務局だより

1月18日(火)、新津地域交流センター会議室で専門部長・副部長会がもたれました。広報委員会を含む各専門部からの平成22年度事業の反省・評価及び平成23年度の事業計画についての報告の後、①専門部員の出席率を高めるための手立て②地域の方々の参加率を高めるための方策の2点について熱心な意見交換がなされました。年度末に開催される各専門部研修会においても、部内協議題としてこの二つを取り上げ、引き続き協議を重ねていくことになりました。



### ◆第2回常任委員会報告

1月27日(木)、今年度最後の常任委員会が開かれました。常任委員会は新津中央コミ協管内の19人の町内会長さんにより構成されています。広報委員会を含む各専門部の活動状況と会計中間決算についての報告の後、昨年7月に実施した「町内会活動に係るアンケート」の集約結果を資料に協議がなされました。「育成会、民生委員などと連携して、魅力あるまちづくり、コミュニティづくりしていく必要がある。個々の組織がばらばらに動くのではなく、結合・統合して新津中央として誇れる地域力を発揮すべきだ。」などの意見が交わされました。



**【編集後記】** 今号はコミ協の「健康で安全安心な明るい地域づくり」をめざした“各専門部活動を振り返って”を特集しました。「新津あおぞら市場」の賑わい、新津川の早春の景色が目にかんできます。今後もプラス思考で、そして、地域の皆さんとの絆を深める広報でありたいと思っています。 （瀧澤和子 記）

（注）新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。